

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平4-101579

(43)公開日 平成4年(1992)9月2日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 9 F 9/00	3 5 7	6447-5G		
B 6 0 K 35/00		A 6948-3D		
G 0 2 B 27/02		A 9120-2K		
G 0 2 F 1/13	5 0 5	8806-2K		
1/1335	5 3 0	7724-2K		

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

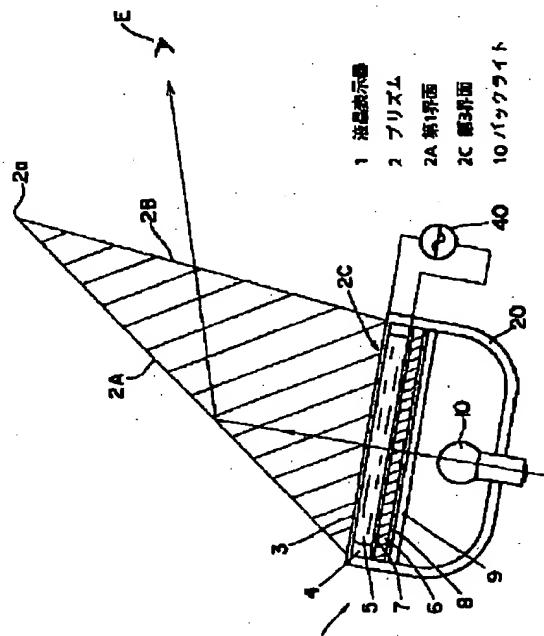
(21)出願番号	実開平3-11132	(71)出願人	000006895 矢崎総業株式会社 東京都港区三田1丁目4番28号
(22)出願日	平成3年(1991)2月8日	(72)考案者	飯野 正 静岡県裾野市御宿1500 矢崎総業株式会社 内
		(74)代理人	弁理士 潤野 秀雄 (外1名)

(54)【考案の名称】 車両用表示装置

(57)【要約】

【目的】 表示器の表示品位を上げるとともに表示像の表示内容の範囲を自由に変えられる車両用表示装置の提供を目的とする。

【構成】 車両用表示装置は表示器1とプリズム2とで一体的に構成している。プリズム2と表示器1とが密着するプリズム2の第3界面2Cの表面には透明電極3を形成する。界面2Cの端縁部に沿ってスペーサ4を印刷し、その上にカバーガラス6を取り付ける。該カバーガラス6の内面にはドットマトリクス形式で透明電極7を形成する。また、界面2Cとカバーガラス6の間にはネマティック液晶5を封入し、ツイストネマティック(TN)を形成する。カバーガラス6の上には更に偏光板8、拡散板9、パックライト10を配置する。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 表示面を上に向けて配置された表示器の表示像をフロントガラス視界内のダッシュボード近傍に配置された反射部材で反射させて運転者に視認させるようとした車両用表示装置において、前記反射部材をプリズムで構成して、該プリズムのプリズム頂点で会合する第1界面及び第2界面の内、第1界面を反射面とするとともに、前記表示器をバックライト付の液晶表示器として前記プリズムの第3界面に密着させたことを特徴とする車両用表示装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案実施例の車両用表示装置の断面図である。

【図2】 従来の車両用表示装置を示す図である。

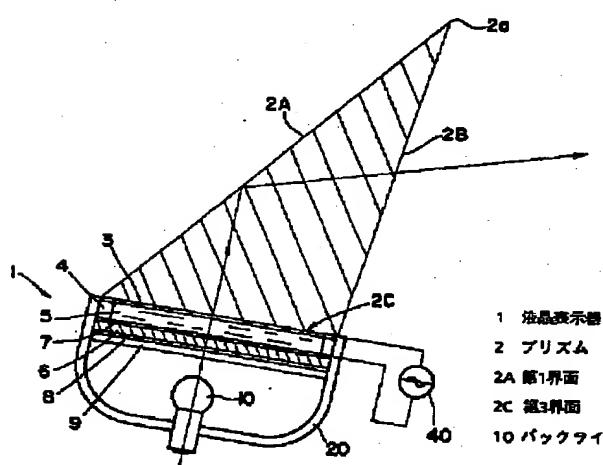
【図3】 既に提案中の車両用表示装置を示す図である。

【符号の説明】

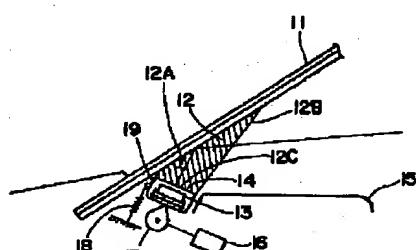
- 1 液晶表示器
- 2 プリズム
- 2A 第1界面
- 2C 第3界面
- 10 バックライト

10 10 バックライト

【図1】



【図3】



【図2】

